肝・胆・膵外科プログラム

【概要】

肝・胆・膵外科では肝胆膵疾患（肝癌・胆管癌・胆嚢癌・膵癌および良性疾患）手術、内視鏡外科手術（胆石症、ヘルニア等）を中心に外科修練を行います。修練期間には関連施設での消化器・一般外科手術の修練も含まれます。

【日本肝胆膵外科学会指定　高度技能修練施設 A の施設基準を満たす high volume center】

当科は日本肝胆膵外科学会の指定する高度技能修練施設基準 A の認定を受ける high volume center であり、肝胆膵外科高度技能指導医 5 名、肝胆膵外科高度技能専門医 1 名が在籍しております。また内視鏡外科に関しても、日本内視鏡外科学会の認定する内視鏡外科技術認定医 3 名が在籍しており、充実したスタッフによる指導を行います。

【外科学会専門医取得からさらに専門分野のエキスパート養成へ】

研修の骨格は臨床研修制度の主旨に則り、まずは臨床医として習得しておくべき一般外科学における基本的診療の知識、技術をプログラムに沿って経験し、修得、発展させます。プログラムのゴールとして、すべての外科系専門医取得の際に必須資格となる日本外科学会外科専門医を卒後 5 年目に取得することを目標とします。当院及び関連する修練施設は、日本外科学会・日本消化器外科学会の認定施設であり、外科学会専門医取得に次いで、外科学会指導医、消化器外科学会専門医・指導医、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医等、その先の専門分野のエキスパート養成を目指します。また、これら外科系専門医・指導医に加えて肝臓病専門医、消化器病専門医も取得可能です。

【手術症例数（年間）：肝切除約 100 例、膵切除約 50 例、腹腔鏡下胆嚢摘出術約 110 例】

当科における手術症例数は高難度手術である肝切除術は年間約 100 例、膵手術は年間約 50 例あります。腹腔鏡手術に関しては、腹腔鏡下胆嚢摘出術だけで年間約 110 例あります。前述した外科専門医取得に必要な一般・消化器手術は主として後述する関連病院で助手・術者の経験を積んでいきます。肝胆膵外科高度技能専門医に関しては、資格取得には高難度手術（亜区域以上の肝切除または膵頭十二指腸切除）を 50 例以上術者として経験することが求められます。当科ではまず、当院で開発された画像シミュレーションにて、術前の脈管走行の把握や術式の決定に至るプロセスを学んだ後に、高難度手術の助手を経て術者の経験を積んでいきます。現在 2～3 名が肝胆膵高難度手術を術者として経験することで資格取得を目指しております。内視鏡外科技術認定医に関しては、45 例以上の腹腔鏡下胆嚢摘出術と 5 例以上の腹腔鏡下の肝、膵、脾摘出術などの高難度手術を経験することが求められます。当科ではまず、内視鏡手術シミュレーターにて腹腔鏡手術の初期トレーニングを行い、その後、実際の腹腔鏡手術を内視鏡外科技術認定医の指導の下で行っていきます。現在 2～3 名が腹腔鏡下胆嚢摘出術を中心とした腹腔鏡手術を術者として経験することで資格取得を目指しております。

【関連病院：宝塚市立病院、明和病院、川西協立病院、医真会八尾総合病院等】

また当科は宝塚市立病院、明和病院、川西協立病院、医真会八尾総合病院等の豊富な手術症例数を誇る関連施設を有しており、指導医資格を持つ当科 OB の指導下に肝胆膵外科・内視鏡外科手術に加えて、食道・胃・大腸などの消化管全般および乳腺・外傷の手術経験を積むことが可能です。

【卒後３年目以降の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップおよび外科専門医取得のため、心臓血管外科、呼吸器外科などで、希望により１～３ヶ月間研修を行うことができます。

【カンファレンス、症例検討会等】

術前術後検討会・重症症例検討会は週 4 回、回診は毎日、抄読会は週 1 回行っています。また内科、放射線科との合同カンファレンスも月 1 回行っています。

【学会発表・論文投稿へのサポート】

日本外科学会専門医取得には、指定の学術集会での発表または学術雑誌への投稿が義務付けられています。指導医のもとに適切な症例を選択し、学会発表から論文投稿までの一連の作業をサポートします。

【修練修了・専門医取得後について】

本人の意思を尊重し、①さらなる専門領域研鑽のために大学で経験を積む、②関連施設にてさらなる臨床経験を積む、③大学院に進学し医学博士号取得を目指すなど、幾つかの選択肢があり、それぞれの順序も選択可能です。

【大学院進学及び留学について】

大学院での研究は外科を中心として基礎教室と連携して研究を行っており、大学院生は多くの優れたトップジャーナル【Nature Medicine, The Journal of Clinical Investigation (JCI), The Journal of Experimental Medicine (JEM), Hepatology, Surgery, Annals of Surgery, British Journal of Surgery (BJS), Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences (JHBPS)等】に研究論文を発表し、高い評価を受けています。

学位取得後、希望者には海外留学も可能です。これまで及び現在の留学先は下記の通りです。
ハーバード大・コロンビア大・ニューヨーク大・カリフォルニア大（ＵＣＬＡ・ＵＣＳＤ）・
ボストン大・ノースカロライナ大・サンディエゴ大学・ブリュッセル自由大学

【指導医】

指導責任者および連絡先

主任教授：藤元　治朗（日本外科学会専門医・指導医）
（日本消化器外科学会専門医・指導医）
（日本肝胆膵外科学会高度技能指導医）

TEL：0798-45-6582　　FAX：0798-45-6581　　E-mail: surg-1@hyo-med.ac.jp(医局長：岡田)

【研修統括者】

講師：鈴村　和大